う指導する。

ア　身近な人の話に慣れ，簡単な事柄と語句などを結び付けたり，語句などから事柄を思い浮かべたりすること。

イ　簡単な指示や説明を聞き，その指示等に応じた行動をすること。

ウ　体験したことなどについて，伝えたいことを考えること。

エ　挨拶をしたり，簡単な台詞などを表現したりすること。

B　書くこと

書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　経験したことのうち身近なことについて，写真などを手掛かりにして，伝えたいことを思い浮かべたり，選んだりすること。

イ　自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り，簡単な平仮名をなぞったり，書いたりすること。

C　読むこと

読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべること。

イ　教師と一緒に絵本などを見て，時間の経過などの大体を捉えること。

ウ　日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き，読もうとしたり，表された意味に応じた行動をしたりすること。

エ　絵本などを見て，好きな場面を伝えたり，言葉などを模倣したりすること。

○３段階

(1) 目　標

ア　日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に触れ，親しむことができるようにする。

イ　出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け，思い付いたり考えたりすることができるようにする。

ウ　言葉がもつよさを感じるとともに，図書に親しみ，思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。

(2) 内　容

〔知識及び技能〕

ア　言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近な人との会話や読み聞かせを通して，言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。

(ｲ) 姿勢や口形に気を付けて話すこと。

(ｳ) 日常生活でよく使う促音，長音などが含まれた語句，平仮名，片仮名，漢字の正しい読み方を知ること。

(ｴ) 言葉には，意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。

(ｵ) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により，意味が変わることを知ること。

(ｶ) 正しい姿勢で音読すること。

イ　話や文章の中に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 物事の始めと終わりなど，情報と情報との関係について理解すること。

(ｲ) 図書を用いた調べ方を理解し使うこと。

ウ　我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き，言葉の響きやリズムに親しむこと。

(ｲ) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して，いろいろな語句や文の表現に触れること。

(ｳ) 書くことに関する次の事項を理解し使うこと。

㋐　目的に合った筆記用具を選び，書くこと。

㋑　姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし，平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。

(ｴ) 読み聞かせなどに親しみ，いろいろな絵本や図鑑があることを知ること。

〔思考力，判断力，表現力等〕

A　聞くこと・話すこと

聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよ